

山 報

高幡不動尊



「秋の六地藏」

四季の部 銀賞 日野市 設楽 誠一

防災の日を前に思う

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田純一

私の小さい頃の各季節を振り返れば、春の入学式ではまさに校庭の桜が満開だったこと、夏には川遊びや蝉を追いかけて真っ黒に日焼けしたこと、秋は友達と別れた帰り道での夕焼けが大変美しかったこと、冬の朝、通学路の水たまりの水を足で割ったり、竹とミカン箱で作ったソリで雪の坂道をすべったことなどが、大変なつかしく思い出されます。また何より四季が今よりもはっきりとしていたように感じるのには、単にノスタルジーによるものなのでしょうか。

さて、旧盆にかけて台風六号と七号が列島を襲い、それにもない多くの被害が生じたことは、メディア等の報道によってみなさんもよく知っていることと思います。戦後最大の被害を出した台風は、昭和三十四年の伊勢湾台風で、被害の主な原因は「高潮」によるものとされています。多くの日本人が高潮ということばや、高潮の恐ろしさを身をもって知ったのは、このときがはじめてであったといっても過言ではないでしょうか。

近年もまた、梅雨や台風の時期に多く耳にするのは、「線状降水帯」ということばです。以前は気象学の専門用語として使われていたようですが、このことばが一般的に使われるようになったのは平成二十年頃からで、その背景には気象観測技術の進歩とメディアの報道が大きく寄与しているとされているのですが、何よりも線状降水帯の発生頻度と、それにもなう災害の大きさが増していることが大きいのではないのでしょうか。

十八世紀半ばの産業革命以前にも、台風などの気象による災害は多々あったはずですが、その頃の私たち人類の活動は微々たるもので、気象にまで影響を及ぼすまでではなかったはず。しかし、近年の極端な気象が繰り返される原因の一端が、私たち人類にもあることは否定できないのではないのでしょうか。そこで一度立ち止まり、わたしたちの普段の行動を見つめ直すことが求められているのではないのでしょうか。九月一日は「防災の日」です。

この高幡山報をみなさんが手に取る頃には、お不動さまでは、十万本の彼岸花が満開となり、秋が深まり冬のたよりが届く頃には、真っ赤に色づいたもみじが、みなさんを迎えていることと思います。

お不動さまの心―(一一二二) 現代の世相から(82) 廣澤隆之

以前から、テレビを見ていて気になることがあります。それは通販番組がとて多くなっていることです。とりわけ民放キ1局の衛星放送では盛んに通販番組が放送されています。深夜から早朝にかけてはほとんど通販番組という放送局もあります。そして日中も頻繁に放送されています。

それほど熱心に見ているわけではありませんが、早朝や日中の通販番組では高齢者向けのものが多いように思えます。しかも健康に関する商品の販売が目立ちます。足腰の衰えを防ぐ器具やさまざまなサプリメントの通販が多いということは、健康志向の老人層が購買者として想定されているのでしょう。昨今は健康寿命が重視されますから老人の健康志向はますます強まるでしょう。そしてさらに商品の開発や販売が盛んになることでしょう。通販番組からは近未来の社会の一面が透けて見えてくるように思います。

あります。それは宣伝の画面に細かく書かれた文字です。我が家のテレビは小さいので、あの画面の小さな文字はほとんど読めません。しかも効能などを記した小さな文字を全部読むことはできません。少し読めば画面が変わるので、視聴者はきちんと商品情報を読むことなく、印象で商品を評価しがちになります。そして気になるのは、宣伝する商品について効果・効能を保証するものではなく「個人の感想」であることが表示されます。宣伝する人は大いに効果があることをほめかし、映像もそのような印象を導くのに、それは「個人の感想」であると小さく文字で表示されるのを見ると、何か滑稽な感じもします。おそらく番組としては薬事法や景品表示法に違反しないで、しかも効果があることを印象づける涙ぐましい努力で宣伝をしているのでしょう。

このように通販番組の制作意図や手法を読みとろうとテレビ視聴すると、社会事象も関連づけているいろいろと考えさせられることがあります。しかし、購入意欲がある人は商品そのものに関心が向き、「個人の感想」という文字を気にしつつも、宣伝画面から商品の印象を受けとめていることでしょう。

ところが、通販番組で定番の「個人の感想」という表示を教育の宣伝で見ても驚きました。詳しくは思い出せませんが学習塾か予備校の宣伝だったと記憶しています。その宣伝ではサプリメントの宣伝と同じように、新しく開発された教育方法によって子供たちの成績は向上すると謳われていました。その宣伝画面の隅に「個人の感想です」と小さく文字表示がされました。教育関連の宣伝ですからサプリメントのように薬事法は関係しないので景品表示法で指摘される不当表示にあたらないことを示すために「個人の感想」を表示したのでしょいか。

商品と同じように宣伝される現実を今まで見過ごしてしまいました。教育サービスは商品なのではないか。たしかに教育のサービスにはお金がかかります。公教育でも教員に給与を支払わなければ成り立ちません。すなわち税金を納めることで私たちは公教育のサービスを平等に受ける権利を持ちます。権利は平等でも、



摩利支天像 藤原重光筆 江戸時代

受けるサービスの効果をどのようには評価するかは「個人の感想」ということになるでしょう。しかし公教育ではそのようなことを誰も気にしていません。

公教育以上のサービスを求めるとき、教育にかける費用の対価として教育効果が強く求められるでしょう。そしてお金をかければかけるほど教育の効果があがると多くの人が信じています。そして幼稚園の頃から教育に投資をすることで一流の学歴が得られるのが現実です。それゆえ経済格差が教育格差にも連動します。

このような状態はある程度しかたないとも言えますが、経済格差が拡大する現代では、もう一度戦後教育の原点を、さらには江戸時代の寺子屋の教育まで再考して教育の機会均等について考え直す必要があるといえます。社会は教育によって基礎づけられます。そして商品としての教育では満たされない価値があることを子供たちに伝えたいものです。商品化されない究極のものは私たちの心にひそむ仏さまの心です。

- 廣澤隆之先生のプロフィール
- 大正大学名誉教授
- 浄福寺住職

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

境内整備緑化資金 寄進者芳名

(令和五年五月一日〜七月三十一日)

日野市 水谷 圭子
彦根市 西澤 政男
匿名

一、品名 書 跡
奉納者 調布市 青木 和子

一、品名 マスク(手作り)
奉納者 国立市 佐藤 ふじ子

一、品名 曼珠沙華の球根

奉納者 五十個
日野市 伊藤 馨

幟旗奉納者芳名

(令和五年五月一日〜七月三十一日)

世田谷区 山中雅晶
世田谷区 山中晴湖
調布市 高橋 佐和子
二本 西東京市 倭木 桜
多摩市 浅田 玲
立川市 大森 光明
日野市 岡田 加代子
日野市 栢谷 文雄
日野市 榊原 隆雄
日野市 榊原 玉江
昭島市 五十嵐 虎孫
二本 中央市 佐野 千尋



奉納者 六十個
日野市 越村 あや子

多摩八十八ヶ所巡拝結願記念法話

日時 十月二十一日(土) 午前十時三十分
会場 不動堂(聴講無料)
講師 大本山高尾山薬王院
高尾両山講御先達



桑澤 俊宏 先生
・演題 「山岳修行について」

第十四回 藤蔵・勝五郎 生まれ変わり記念日イベント

日野市郷土資料館では十月十日に迎える「藤蔵・勝五郎生まれ変わり記念日」に際し左記の通り講演会を開催しますのでお誘い合わせでご参加下さい。

記

日時 十月八日(日) 午後一時三十分〜三時三十分
会場 五重塔塔院大ホール(入場無料)
講師 石井 研士 先生(國學院大學教授)
演題 「変わる日本人の死生観
― 私たちは生まれ変わる、それとも死なない? ―」

・定員 百五十名(申し込み不要 直接会場へ)

※藤蔵墓所・記念碑などの案内もあります。

〈問合せ〉日野市郷土資料館 ○四二―五九二―〇九八一

第十二回ブルー

ライトアップ

IN高幡不動尊

今年も世界糖尿病デーにちなみ五重塔のブルーライトアップ及びチャリティーイベントを左記の通り開催します。

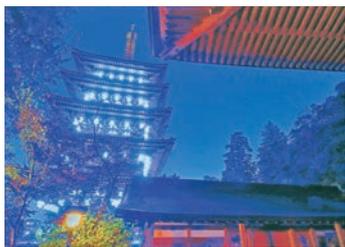
記

◆五重塔ブルーライトアップ
十一月十一日(土)〜十八日(土)
午後五時〜十時

◆チャリティーイベント
十一月十一日(土)午後四時〜
(出演)

・デキシードトジャズバンド
パラダイス

・ごつちくん(マジシャン)
・S.A.T.O.C.O(パントマイム)



「ブルーな境内」四季の部 銅賞
府中市 能登 正俊

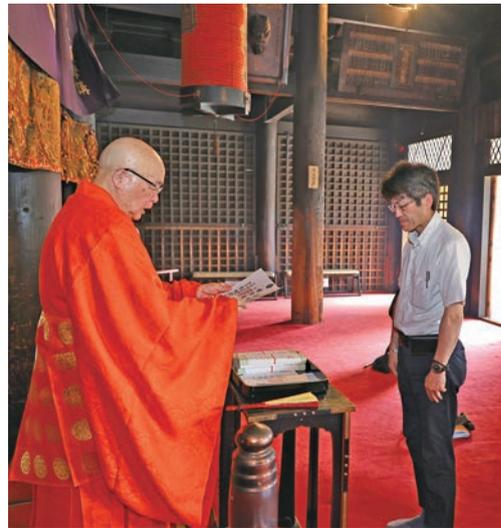


施餓鬼会御法話 8/15
 「お大師さまの教え」
 江東区寶蓮寺副御住職 鈴木晋雄先生

高幡不動尊
 フォトニュース



夏休み寺子屋・お大師さまカルタ大会 8/3



高尾両山講新役員に委嘱状を授与 7/7



あじさいまつり写真コンクール審査 7/29



いけばな嵯峨御流挿花展 6/6



千葉・善雄寺様御一行 6/27



青葉まつり法要 6/15



あじさいまつり薄茶接待 6/21



少年柔剣道奉納大会 6/4



青葉まつり詠歌奉詠・高幡山遍照講 6/15



地元の岩崎愛子さん新曲「高幡音頭」披露 7/29



賑わうあじさいまつりの境内 6/21



陶芸家安西親子展 6/22

秋の行事案内

(毎月十五日にはお焚き上げが行われます)

◇九月

- 10日(日) フリーマーケット
 - 17日(日) ござれ市(がらくた市)
 - 21日(木) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶
 - 23日(祝) 彼岸会法要(午前七時) 大日堂
 - 24日(日) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
 - 28日(木) 秋季大祭大般若会 お花講総登壇日
- 記念法話 眞言宗智山派教学部長
演題 圓應寺 御住職 山川 弘巳先生
「安らかなる心を求めて」

◇十月

- 8日(日) フリーマーケット
 - 15日(日) ござれ市(がらくた市)
 - 21日(土) 多摩八十八ヶ所巡拝結願法要
- 記念法話 講師 大本山高尾山薬王院
高尾両山講 御先達 桑澤 俊宏先生
演題 「山岳修行について」

- 21日(土) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶
 - 24日(火) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
 - 28日(土) 月例祭(緑日)
- 第五十二回 高幡不動尊菊まつり (下段参照)

◇十一月

- 11日(土) 七五三祈願
 - 12日(日) 五重塔ブルーライトアップ
 - 18日(土) フリーマーケット
 - 18日(土) 30日(木) 高幡不動尊もみじまつり
 - 19日(日) 高幡写仏会 講師 牧宥恵先生
 - 21日(火) ござれ市(がらくた市)
 - 22日(火) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶
 - 23日(水) 花塚供養
 - 24日(金) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
 - 28日(火) 月例祭(緑日) 法話 山内僧侶
- (下段参照)

第五十二回高幡不動尊菊まつり

恒例の高幡不動尊菊まつりが左記の通り開催されます。皆様お誘い合せてご鑑賞下さい。

- 一、月日 十月二十八日(土)～十一月十七日(金)
- 一、会場 高幡不動尊境内
- 一、参加 多摩菊花連盟参加八市の菊作り愛好家
- 一、出品 厚物・管物・一文字・懸崖・福助・だるま・盆栽・切花等一、〇〇〇点余り
- 一、特別出展 参加八市の特設花壇及び特志者の大作り(千輪咲・三重塔)等も出品。
- 一、審査 十一月五日・十三日の両日に行われ、内閣総理大臣賞をはじめ各大臣賞・東京都知事賞等が贈られます。

※期間中は毎日菊作りの相談及び菊苗の販売が行われます。展示された菊花のうち切花は十一月七日・十四日の両日朝から、福助は十一月十日午後一時から即売されます。又、期間中のご縁日・日曜・祝日等は七五三詣とも重なり大変混み合いますので、なるべく電車・モノレール・バスをご利用下さい。

七五三・新生児祈願のご案内

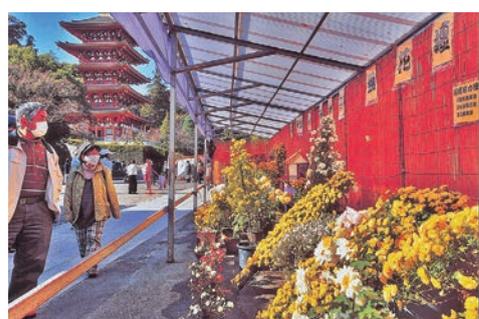


お子様の健康をお祈りする七五三祈願は十月～十一月中毎日、新生児祈願は一年中ご修行しております。

○ご修行時間 午前九時～午後四時

○ご祈願料 金三、〇〇〇円以上 (お札・供物料含む)

※堂内ではお子様を中央前に、ご家族の方はその後ろにお座り下さい。



「菊まつり」四季の部 銅賞 江東区 小池 宏和

高幡不動尊もみじまつり

十一月十八日(土)～十一月三十日(木)

境内から裏山にかけては、樹齢二百年以上の古木三百株・約三十年の稚木一〇〇〇株が集中しています。特に五重塔・大師堂・鐘楼堂付近のもみじは見事でライトアップも予定されております。

もみじまつり期間中の主な行事・催しは左の通りです。

- 十一月十八日・十九日 高幡写仏会
- 十一月十九日 ござれ市
- 十一月二十一日 月例写経会 法話 山内僧侶
- 十一月二十二日・二十三日 萬燈会・たかはたもみじ灯路
- 十一月二十四日 千体地藏尊月例法要
- 十一月二十八日 ご縁日

萬燈会・たかはたもみじ灯路

当山では左記の通り二日間に亘って萬燈会を奉修し、皆様の七難即滅・七福即生並びにご先祖様の追福菩提をお祈りさせて頂いていただきますので、皆さまお誘い合せてご参加下さい。尚、両日とも午後六時から門前町一帯で、約二四〇〇個の置灯明が点灯され、「たかはたもみじ灯路」の幽玄な世界が現出されますのでお楽しみ下さい。

記

- 一、月 日 十一月二十二日(水)・二十三日(祝)
- 一、会 場 高幡不動尊五重塔
- 一、行 事 法 話・詠歌奉詠 午後四時
萬燈会(塔院) 午後五時
塔婆供養(五重塔前) 午後五時三十分
奉納コンサート 午後六時
- 一、御燈料 金一、〇〇〇円也(二人につき)
- 一、経木塔婆 金一、〇〇〇円也(二霊につき)
- 一、浮燈明 金 五〇〇円也(五重塔の池に浮べる燈明です)

秋季大祭記念法話

- ・日 時 九月二十八日(木) 十二時三十分から
- ・会 場 客殿二階(聴講無料)
- ・講 師 真言宗智山派教学部長
大田区 圓應寺御住職



山 川 弘 巳 先生

・演 題 「安らかなる 心をもとめて」

高幡写仏会のお知らせ

自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、その後、御本尊不動明王に奉納する写仏会です。当山では年二回(あじさいまつり・もみじまつりの会期中)写仏布教の第一人者、画僧牧宥恵師を招いて開催しています。写仏前の御法話も人気があります。是非この機会に御参加いただき、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊不動明王のご加護を授り下さい。

記

- 日 時 十一月十八日(土)・十九日(日)
午後一時～午後四時(受付 正午より)
宝輪閣地階ホール(両日共、牧宥恵師の作品を展示します)
- 会 場
- 内 容 午後一時 法話
午後二時 写仏
午後四時 写仏奉納大護摩修行
式千円(材料費含む)
- 会 費
- ◇お申込・高幡不動尊事務局まで
電話 〇四二五九一〇〇三二

大提灯

ご奉納のお願い

当山では萬燈会・正月・大祭・節分等の大行事の折、各所で大提灯をお飾り致しますのでご協賛の程お願い申し上げます。

- 尚、募集要項は左の通り
- 一、品 名 萬燈会及び大祭 用大提灯(ご奉納者芳名入り) 五十基
- 一、募 集 数 五十基
- 一、志 納 金 金五〇、〇〇〇円
- 一、申 込 当山事務局又は 宝輪閣受付

(ご連絡下されば申込書をお届け致します)



ご奉納いただいた大提灯

山内消息

御詠歌法音絵巻

くお大師さまく公演

五月二十八日、五重塔塔院大ホールにて御詠歌法音絵巻くお大師さまくが公演されました。弘法大師ご誕生一二五〇年の慶讃事業として東京多摩教区が主催したもので、大スクリーンに弘法大師の生涯を映し出し、誕生や修行など節目の場面に応じた御詠歌や声明が唱えられ、会場は立ち見が出る程の大盛況となりました。

寺田猯下総本山追悼法要(6/7)

本年一月三日に御遷化された真言宗智山派元管長、総本山智積院化主第七十世大僧正寺田信秀猯下の総本山追悼法要に当山貫主が参列しました。寺田猯下には平成二十七年に当山先々代の秋山祐雅貫主第二十七回忌法要の大導師をお勤めいただきました。猯下の佛果増進をお祈り致します。

青葉まつり大法要

六月十五日 午後一時より、

弘法・興教兩祖大師誕生会青葉まつり法要が勤修されました。特に今年は、弘法大師ご誕生一二五〇年の年にあたりますので、川崎大師教化部教務課長、寺田信哉先生の記念講演と御詠歌付慶祝二箇法要が行われ、大勢の檀信徒の皆さまと共に兩祖大師様のお誕生をお祝いしました。

(清水順記)

弘法大師ご誕生一二五〇年

結願法要(6/15)

昨年の十月に開白しました宗祖弘法大師の慶讃記念事業の結願法要が総本山智積院にて勤修され、当山貫主が随喜しました。当日は弘法大師・興教大師



山伏の皆様も声明や御詠歌に参加



松平先生の熱心なご指導

ご誕生慶讃法要として執り行なわれ、法要には真言宗智山派管長布施化主猯下を大導師に仰ぎ、集議菩提院結衆の諸大徳が随喜としてご出仕され、小峰前管長猯下をはじめ多くの方々が集い、弘法大師ご誕生一二五〇年慶讃記念事業は無魔成満しました。

(丸山幸記)

御詠歌講習会(6/19)

東京多摩教区連合会主催の御詠歌講習会が行われ、五十名程の講師の方が聴講されました。講師として密厳流遍照講指導師範・松平宣秀先生をお招きし、課題曲「西国霊場観音和讃」「西国霊場札打和讃」「遍照」をご指導いた

きました。曲の内容、唱詠方法などを丁寧且つユーモアなトークで説明し、会場の雰囲気や和ませてくれました。講習会と同時に教階昇補の検定会も行われ、十名の講師の方が合格されました。

(小澤記)

あじさい毬切り

今年の紫陽花は、開花も早く、またこれまで続いていた新型コロナウイルスによる外出制限も緩和されていたので大勢の方々に来山頂き、コロナ禍以前の賑わいに戻ったように思えました。一ヶ月間私

たちを楽しませてくれた紫陽花でしたが、七月四日に紫陽花会の皆様と山内職員で、毬



装備もバッチリ あじさい毬切り

切りを行いました。名残り惜しくありましたが、来年に綺麗な花を咲かせますようにと願いを込めながら努めました。

(松本記)

中学生職場体験(7/6~7/7)

日野市立三沢中学校の生徒さん三名が職場体験で来山されました。とても挨拶が良く、日頃から礼儀正しい生活をしていることが伺えました。

三名には境内掃除をはじめとした作務や御護摩札の受け渡し、そしてお茶のお稽古などを行いました。お茶のお稽古では初めての体験で、貴重な経験を得られて満足したとのことでした。

(佐竹智記)

寺子屋(8/3)

山内において高幡わかき子供会の皆様十名のご参加をいただき高幡不動尊寺子屋を開催しました。開会式の後、阿字観、お大師さまカルタ、念珠作りを体験いただき、最後に不動堂の御護摩修行に参列、作った念珠をお加持しました。

(佐竹智記)

第三十九回あじさいまつり

今年のおじさいまつりはコロナ以前の賑いが戻り、茶道教室のご奉仕による薄茶接待では二五六四名の皆様楽しんでいただきました。

少年柔剣道奉納大会 6/4

日野警察署内の道場で稽古に励んでいる少年少女が、剣道の奉納演武と柔道の奉納試合を繰り広げました。各部受賞者は次の通りです。

- 柔道
 - ・優勝 緑川 らん
 - ・準優勝 佐藤 紫苑
 - ・打止め賞 石沢 結人

日本拳法奉納大会 6/11

三十七回目を迎えた日本拳法奉納大会は十八団体六十六名の参加で終日熱戦が繰り広げられました。

本年の参加団体と各部受賞者は次の通りです。

- 御殿場西高校・中央大学・慶應義塾大学・立教大学・明治大学・立正大学・日本大学・東海大学・拳錬会・黒綾館



熱気に満ちた五重塔塔院 日本拳法奉納試合

○三段以上の部

- ・優勝 竹原 照真
- ・準優勝 玉置 裕也
- ・三位 渡辺 裕武
- ・三位 伊藤 公介
- 敢闘賞 末田幸夫・宮本将志 中村徹平

○二段の部

- ・優勝 松本 鼓大
- ・準優勝 若佐 光久
- ・三位 山本 和希
- 敢闘賞 浦窪弦太・森若七星 高野僚太郎

○初段の部

- ・優勝 加賀谷 廉
- ・準優勝 越智 通友
- ・三位 近藤 祐亮
- ・三位 瀧澤 慶樹
- 敢闘賞 松島正俊・伊東大騎 平田 楽・小久保遼
- 敗者復活敢闘賞 北村和也

○級の部

- ・優勝 橋内 大輝
- ・準優勝 祖父江琉翔
- ・三位 ウエノリュウイチ
- ・三位 柿澤 佑介
- 敢闘賞 堀越海大・末兼秀悟 伊藤 史・角谷啓太
- 敗者復活敢闘賞 一丸亮太

○女子の部

- ・優勝 田村 佳蓮
- 敢闘賞 市川由奈・木谷心咲 今園舞美

空手奉納大会 6/25

大会当日は奉納試合・演武・厚板の試割等が披露されました。各賞受賞者は次の通りです。

- ライトコンタクト空手
 - ・優勝 八木 武寛
 - ・敢闘賞 志村 咲良
 - ・努力賞 須藤 誇斗



「あじさいとツーショット」あじさいの部 銅賞 日野市 野村 明雄

あじさいまつり全国俳句大会

今大会は一六六二句の応募があり、九名の先生方に各七十句選を依頼し合計点で上位三十名の入選が決まりました。選者は次の先生方です。

(敬称・肩書略・五十音順)

- 大久保白村・大竹多可志
- 才野 洋・笹木 弘
- 鳥居真里子・暮目 良雨
- 福神 規子・星野 高士
- 矢島 艶子の諸先生

第一位

語りたき 人みな逝けり

沙羅の花

第二位

中野区 古郡 瑛子 護摩堂を

出て新涼の

風まどふ

日野市 竹中 義信

第三位

あじさいに

寄る潮騒を

聞くように

世田谷区 関戸 信治

④武藤 節子 ⑤佐藤 弘

⑥塚崎 和朗 ⑦尾崎 雅子

⑧金子喜久江 ⑨小川美津子

⑩完戸 澄子 ⑪古山 昌之

⑫涌井 久代 ⑬大山とし子

⑭西尾 京子 ⑮山岸 嘉春

⑯大多喜まさみ ⑰小川 菜穂

⑱成田 清子 ⑲伊藤 久子

⑳有馬 芳生 ㉑中嶋 和臣

㉒杉田 陽子 ㉓保永 澄

㉔富山 光義 ㉕橋 光江

㉖山地 保子 ㉗秋山多美子

㉘関根 正義 ㉙相馬マサ子

㉚西川 陽子



各先生方から講評をいただきました 全国俳句大会

あじさいまつり短歌大会

今大会は二五〇首の応募があり、四名の先生方に各五〇首選を依頼し合計点で上位三十名の入選が決まりました。

選者は次の先生方です。(敬称肩書略五十音順)大河原惇行・狩野 一男・長澤 ちづ・森本 平の諸先生

第一位

あじさいの

続く参道 歩みつつ

ひ孫は振り向き

われの手を引く

江戸川区 吉野 葉子

第二位

たけのこ飯を

兄弟歌碑に 供へたり

もみぢ若葉の

そよぐ木の下

武蔵野市 藤井 徳子



「紫陽花の幻想」あじさいの部 銅賞

日野市 小山 乾

第三位

あじさいの

葉裏に光る 朝つゆは

思い出せない

夢かも知れぬ

府中市 栗原 幸子

第一位

④角田 好弘

⑥佐藤 昌喜

⑧北村 芳枝

⑩長谷川 瞳

⑫田村智恵子

⑭徳植 弘幸

⑯橋 光江

⑰鈴木久美子

⑱宮田 大地

⑲坂本 由子

⑳千明 武紀

㉑清水 桂子

㉒柴田 慶子

⑦中道 操

⑨夏目 雅代

⑪田山 光起

⑬大木かづ子

⑮鷺田ひさみ

⑰石川るみ子

⑱菊丸 雅俊

⑲小川 恵子

⑳立山 宏子

㉑藤田 孝

㉒許斐 亮子

㉓土屋美代子

山内八十八ヶ所めぐり

今回は三四一名に御解答いただき、全問正解は二九七名でした。

クイズの正解

①弘法大師が活躍した時代は?

〔平安時代〕

⑩万葉集で紫陽花の歌は?

〔二首〕

⑳不動堂内陣でいたたくのは?

〔塗香〕

③〇開業一〇〇周年を迎えた鉄道は?

〔京王線〕

④〇東照大権現とは誰?

〔徳川家康〕

⑤〇甘茶を振舞うのは?

〔花まつり〕

⑥〇境内の茶室の名は?

〔豊泉寮〕

⑦〇たまモノのPR担当は?

〔タマオ〕

⑧〇大日堂の天井画は?

〔龍〕

⑧⑧弘法大師の生誕地は?

〔香川県〕

あじさいまつり写真コンクール

今回は総数一五〇八点(あじさいの部九七四点、四季の部五三四点)の作品を応募いただき、七月二十九日に審査会が行われ、合計一〇八点が入賞しました。入賞作品は九月三十日まで五重塔千体堂に、十月五日〜十日まで京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターA B館五階連絡ブリッジギャラリーに展示します。

上位入賞者

〔あじさいの部〕

金賞 小金井市 鈴木 忠良 (本号十一頁掲載)

銀賞 日野市 羽賀 道行 (本号十一頁掲載)

〃 八王子市 星野 利成 (本号十一頁掲載)

〃 八王子市 川口 みつじ (本号十一頁掲載)

銅賞 三鷹市 北野 修 (六年六月号掲載)

〃 国立市 島崎 恭子 (六年六月号掲載)

〃 日野市 野村 明雄 (本号九頁掲載)

〃 日野市 黒田 悦郎 (本号十三頁掲載)

〃 日野市 小山 乾 (本号十頁掲載)

〔四季の部〕

金賞 文京区 小池 基夫 (五年十二月号掲載)

銀賞 八王子市 真次 弘 (本号十一頁掲載)

〃 日野市 内山 義之 (六年三月号掲載)

〃 日野市 設楽 誠一 (本号一頁掲載)

銅賞 国分寺市 本多 忠雄 (本号十一頁掲載)

〃 江東区 小池 宏和 (本号六頁掲載)

〃 日野市 高木 真知子 (五年十二月号掲載)

〃 八王子市 伊豫田 みどり (本号十二頁掲載)

〃 府中市 能登 正俊 (本号三頁掲載)



「梅雨の境内」
あじさいの部 金賞 小金井市 鈴木 忠良



「参道を彩る」
あじさいの部 銀賞 八王子市 星野 利成



「紫陽花の咲く頃」
あじさいの部 銀賞 八王子市 川口 みつじ



「ダルマお買い上げ」
四季の部 銅賞 国分寺市 本多 忠雄



「日本の夏」
四季の部 銀賞 八王子市 真次 弘



「薄茶接待」
あじさいの部 銀賞 日野市 羽賀 道行

諸行事に参加して

御詠歌 法音絵巻(5/28)

練馬区 小笠原慶子
お大師様のお話しが大変解り易く、勉強になりました。とても楽しく聞き入りました。子供の頃、御詠歌が大好きで何十年振りに聴くことが出来とても嬉しかったです。声明も初めて出合い、今日はとても良い一日でした。

多摩市 栗山智恵子
声明や御詠歌、それに合わせた映像で弘法大師空海様の一生がとて解りやすく素晴らしかったです。先日高野山に行ったばかりで、今回偶然にも参加させて頂き、とても嬉しかったです。また高野山の奥の院へお大師様にお会いに行きたいです。

西東京市 野島 和子
お大師様の法音絵巻で、御詠歌の意味・内容が理解できました。脈々と受け継がれてきている御詠歌に心洗われました。大変厳かな式典に参加出来たことに感謝します。お

大師様の一生がスライドで見れたこと大変意義がありました。

町田市 瀬戸真由美
今日は亡き父の命日です。偶然ネットでポスターを拝見し、御縁と思い参加させていただきました。実家の近くには、お大師様が杖で出して下さった水がある水大師と呼ばれる場所があります。声明・御詠歌とても安らぎました。

少年柔剣道 奉納大会(6/4)

市原市 野口 淳子
今日は素晴らしい大会を見させていただき有難うございました。子供たちは一生懸命頑張っていましたね、応援も良かったです。日頃の練習の成果が出ていましたね、指導されている先生方、お疲れ様でした。五重塔の下での大会開催、すごいと思います。子供たちは本当に良い経験でしたね。来年も楽しみにしております。



「販わうござれ市」
四季の部 銅賞 八王子市 伊豫田 みどり

日野市 池田久美子
今年も無事に開催することが出来ました。子供たちの頑張っている姿は、とても輝いて嬉しい気持ちになりました。

日本拳法 奉納大会(6/11)

御殿場市 須藤 将太
お寺の方々が、とても親切でした。会場が綺麗で選手は試合が行いやすい環境だと思いました。

松戸市 宮本 隼兵
素晴らしい雰囲気の中で日本拳法を行えることは中々ないので、引き続き大会を継続していただきたいです。

御殿場市 長田 吉弘
会場の空調が良く快適でした。様々な選手が参加出来る大会で、とても良い大会でした。

青葉まつり 記念法話(6/15)

「お大師さまの言葉
〜私たちがメッセージ〜」
川崎大師教化部教務課長
館山市 高性寺御住職
寺田 信哉 先生

稲城市 澤村 陽佳
お大師様の一三五〇回目の誕生日のお祝いに参加させて頂き、嬉しく思います。「全ての存在は大日如来のあらわれであり、本来浄らかであり平等である」というお大師様のまなざしで生活できたら、どれだけ素晴らしいでしょうか。法要は厳かで、一二〇〇年の歴史を感じるものでした。

狛江市 増田 真
今日は弘法大師空海様のお誕生日ということで、山内八十八ヶ所巡りの後に御法話を聞かせていただきました。弘法大師様の今の世の中にも通ずる有難いお話をわかりやす

くお話しいただき本当に有難うございます。私も今日のお言葉を実行に移せる様に、これから日々生きていきたいと思えます。

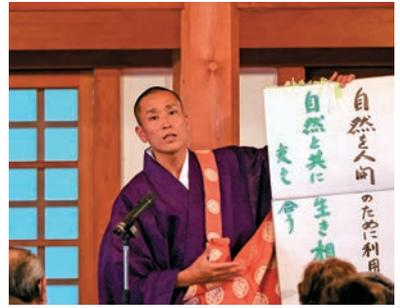
日野市 長田美枝子
はじめて法話を聞きに来ました。お大師様の言葉、わかりやすく、現代の混沌とした世相に通じるものを感じました。聞いているだけでも心が和むことが出来ました。

空手奉納大会(6/25)

日野市 遠藤 美枝
様々な演武を観させて頂くことが出来て良かったです。高幡不動尊に集って、他の支部の方々と交流し、披露できる機会に感謝です。

八王子市 遠藤 隆
暑い中、日頃の練習の成果を拝見させて頂き有難うございます。日常生活では、なかなか見れないことに出会えて大変良かったです。

八王子市 八木 紀子
コロナでしばらく振りでしたが、久々の奉納大会は、暑い中頑張っている姿が見れて良かったです。板を割って嬉



寺田 信哉先生のありがたご法話

職場体験

しそうにしている子供たちがとてもかっこ良かったです。また来年も来たいと思います。

三沢中学校 坂本 晃大
境内がとても綺麗にされていて驚きました。職場の方たちが、いっぱい挨拶をしてくれ嬉しかったです。また高幡不動尊に行きたいなと思いました。

三沢中学校 六鎗 蒼真
自分が挨拶すると相手も挨拶してくれたのが気持ち良かったです。お寺の仕事は、どの様な事をするのか分からず不安でしたが、二日間色々な事を知れてとても楽しかったです。

三沢中学校 大森 壮

境内がとても綺麗で感動しました。五重塔の中には意外にも広く、宝物館は展示品が素晴らしく説明がわかりやすかったです。

山内八十八ヶ所めぐりクイズ

日野市 松沢 優

新緑とあじさいの美しい中とても気持ち良く心を落ち着けてお参りできました。来年もクイズを楽しみにしております。

相模原市 熊澤 均

山あじさい、額あじさいの種類が多さに驚きです。八十八ヶ所めぐりの後の薄茶でリフレッシュ。癒されました。

日野市 黒沢 千秋

日野市へ越して来て一年半やつと高幡不動尊への参拝が叶いました。コロナも落ち着き、紫陽花が綺麗な六月に参る事が出来るととても嬉しかったです。八十八ヶ所巡拝は暑さに加え、日頃の運動不足がたたり大変に感じましたが、

一体一体違うお大師様のお顔を見て癒され、紫陽花の色や香りを楽しみ、見晴らし台から



厚板の試割 空手奉納大会

らの素晴らしい景色に感動しとても充実した時間を過ごせました。伊豆の田舎で育つため、森の匂いも懐かしかったです。

日野市 松室 朋子

自然豊かで、身も心もすつきりします。木々に強い日差しもさえぎられ、夏も涼しく歩いて良かったです。

稲城市 澤村 陽佳

今年も紫陽花の時期にお不動さんに来ることが出来て良かったです。歩きながら美しい紫陽花だけでなく、鳥たちの澄んだ歌声と飛び交う可愛らしい姿にも癒されました。この三年間コロナ禍で、お不動さんのような顔をしながら忍耐しなければならぬことも沢山ありました。少しずつ乗り越え

て元の生活に戻りつつあることに感謝の気持ちが湧いてきました。素敵な一日を有難うございました。

寺小屋

日野市 吉川 佳太

数珠を作ることは初めての体験で、とても楽しくてたまりませんでした。とても難しく苦戦しましたが、あきらめないでいっしょうけんめい心を込めて作ったので、出来あがった時はとてもうれしかったです。

日野市 木村 春奈

今日は、たくさん勉強になりました。まず最初に数珠を作った事です。作り方がわからなかったけど、お坊さんに助けてもらいました。カルタも色々勉強になりました。五重塔を登ってみて、高い所は怖いけど登ってみたら良い景色でした。

日野市 吉川 彩乃

お坊さんが色々な事を考えてくれて有難うございました。数珠作りやカルタが一番楽しかったです。五重塔に登れたので、とてもうれしかったです。また参加させてください。



「紫陽花と朝陽」 あじさいの部 銅賞 日野市 黒田 悦郎

貫主の主な動静

- 6/4少年柔剣道大会・淡交会第
- 八西支部総会・6/7寺田狛下追
- 悼法要(本山)・6/10多摩菊花
- 連会議・宝泉院回忌法要(導師)
- 6/11日本拳法大会・6/12観
- 光協会総会・6/15両祖大師ご誕
- 生慶祝法要(本山)・法弘し
- 総会(京都)・6/19まちおこし
- 協議会・大坪市長ご母堂様通
- 夜(焼香)・仁和会評議会
- (京プラ八王子)・20日野仏
- 総会(すし政)・6/23防犯協会
- 総会・6/24多摩菊花連総会・6/25
- 空手大会・6/26幡山会総会(立
- 川)・善雄寺(上総第三教区)
- 参拝団・7/1参道会七夕まつり
- ・7/4紫陽花毬切り・7/5秋山家
- 葬儀(代々幡)・7/10よさこい
- 実行委・7/15盂蘭盆会法要・7/19い
- もみじ灯路実行委・7/29写真コ
- ンクール審査・7/31よさこい実
- 行委・8/1RC卓話・8/5俳句大会
- 表彰式・8/6短歌大会表彰式・
- 8/20写真コンクール表彰式

奥殿だより

第五回

掛軸の保管と取扱い

『山報』第一二二号及び第一二二二号で、毎年二月十五日

の涅槃会の法要で掲げる「涅槃図」の修復についてご紹介致しましたが、作業が完了し、帰山致しました。その報告は次回にさせて戴くこととし、今回は曝書（虫干し）に適した秋を迎える時期でありますので、掛軸の保管と取扱いについてお話ししたいと思います。

毎年秋になるとマスメディアで取上げられる文化財関係の行事の一つに、栃木県足利市にある足利学校の蔵書の曝

書があります。足利学校には、国宝や重要文化財をはじめとして、平安時代以来の書籍を数多く所蔵されており、十月、十一月の約二ヶ月間に、天候の良い日に書籍の紙に吸着している湿気を飛ばす為に、曝書を実施しているのです。

着物の虫干しをなさる方は多いことと思いますが、書籍、掛軸、巻物、屏風などの、紙や裂で出来ている文化財も、着物同様に虫干しが必要です。紙や布製品に湿気が多いとどのようなことが起るでしょうか？

湿気を好むものとして第一に挙げられるのが黴（カビ）です。掛軸でも赤カビ、青カビ、黒カビなどが発生している物を見かけますが、最も良

く発生しているのが、褐色のシミのような斑点、フォクシングといわれるカビです。カビ以外に酸化鉄が原因で発生したとされる物などもありますが、皆フォクシングと呼ばれております。

カビが発生すると、紙や布をその生み出す色素や酸などによって、紙や裂地が変色します。カビは紙や裂地を劣化させますし、変色部分を元に戻そうと薬品などによって漂白したりしますと、劣化致します。カビによる変色は水洗いでは除去することが出来ません。

一般的にカビは高温多湿を好むので、相対湿度80%を超えると発生しやすくなります。ところがフォクシングの原因となるカビは、カビに

とっては低湿度である65〜90%程度で発生する好乾性カビに分類され、高湿度でなくても注意が必要なカビです。60%を超えたら要注意です。

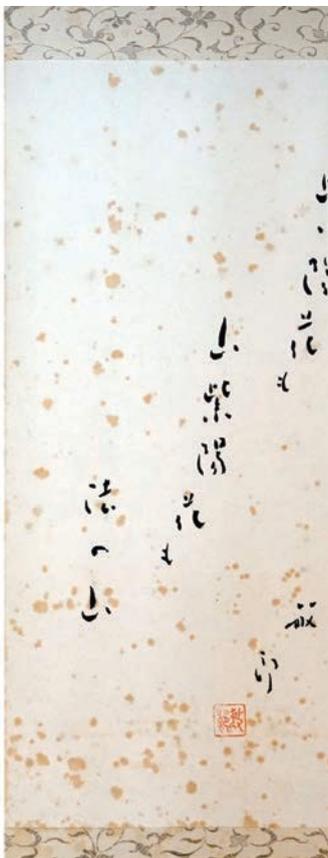
秋の天候の良い日、相対湿度50%の日を選んで曝書を行うことは、紙や布製の文化財の保存の為に大切な作業であります。そして大事なことは、曝書後に掛軸など桐箱に保管されている物を桐箱に戻す際には、乾燥している環境下で行う必要があると云うことです。湿度が高い環境下で桐箱に収めますと、湿気も一緒に封じてしまい、折角曝書したのに桐箱の中でカビが発生しやすくなります。

湿度が高いと生ずる第二の問題は、害虫の発生です。紙や布製の文化財の害虫としては、シバンムシ類やシミ類が代表的な物です。ゴキブリ類も文化財の害虫として、大きな被害を出しております。文化財の害虫はこれ以外にもありますが、ほこりがたまっていたり湿度が高いと発生しやすいのです。

ご覧のように、紙に施された模様のように全面的にフォクシングが発生しております。このようなカビの被害を避けるには、温度20度前後、相対湿度50〜55%の環境下で保管しなければなりません。そのような理想的な状況下での保管を誰もが出来るわけではありません。その為、曝書という作業が大切なのです。最後に掛軸取扱い上の重要な注意点をあげておきます。第一二二二号の「涅槃図」の項でも触れましたが、掛軸を取扱う時には、折れを生じないようにすることが大切です。折れを生じると使っているうちに、そこから切れてきます。

そして同じ掛軸を長期間掛けっぱなしにすることも避けて下さい。二週間程度が理想的です。掛軸の本来の姿は巻かれた状態であり、掛けられた状態は仮の姿なのです。掛軸を掛ける時は多少湿度が高くてもかまいませんが、桐箱に収める時は、湿度の低い日を選んで下さい。

文化財を後世に伝えていく為には、多くの手間が必要なのです。



カビが発生した「紫陽花も山紫陽花も法の山」清崎敏郎の掛軸



掲載した写真は、当山所蔵の清崎敏郎の俳句掛軸ですが、

(藤井和夫記)

高幡いきもの曼荼羅 ②4

初夏は鳥達の巣立ちの季節です。高幡不動尊の境内や裏山も巣立ったばかりの若鳥で賑わいますが、なかでもカラスの幼鳥は姿も鳴き声も大きいのでかなり目立ちます。また見た目も口の中が赤く真っ黒な親鳥とは少し違った趣きです。先日裏山で仲良く並んで鳴いていたので撮影してインスタグラムに投稿したところ「カラスはいつから不吉な鳥になったのでしょうかね」というコメントをいただきました。確かにそのとおりで目を覚まされる思いがしました。



カラスの幼鳥



コジュケイの親子

お隣り府中大國魂神社の「すもも祭り」では、魔除けの「からす団扇」が授与されるように、八咫鳥の神話を待つまでもなくカラスは神聖な鳥であり、人の生活と結びつき共存してきました。それだけにゴミを食い散らかすような旺盛な食性や、子育て中の攻撃的とも思われる生態故にいつしか遠ざけられる存在になったのかも知れません。ただそれは人の一方的な見方であり、カラスにとっては本能以外の何ものでもありません。ここでカラスの肩を持つというつもりはありませんが、どのようにして人とカラスが共存しているのか知恵比べが必要ではないでしょうか。子育て中は親ガラスが頭スレスレに飛んできてビックリさせられますが、カラスの幼鳥は良く見ると可愛いものです。



ガビチョウの幼鳥

なにげなくつかっている仏教のことば―往生（おうじょう）

ものごとが行きづまって動きがとれないことを「立往生」、どたん場にのぞ臨んで、りします。仏教用語としての往生は、

死から死へ、また、安らかに死すことを「大往生」といった関係することばであったため、死からの連想により、（つらい）（苦しい）（困難）などの意味で用いられるようになったようです。

悪いことを「往生際が悪い」、閉口したり、辟易したりすることを「……には往生した」といいます。このように往生は、死に関

係することばであったため、死からの連想により、（つらい）（苦しい）（困難）などの意味で用いられるようになったようです。

（小林靖典）

お不動さま教えて？

ご質問 五重塔地下の休憩所に掲げられているお釈迦さまのレリーフについて教えてください。（前号のつづき）

お答え はい、お答えします。

五重塔地下の休憩所にあるレリーフの十五枚目は《遊化》と題されたレリーフです。遊化とは遊行教化の略で、遊行とは各地をめぐること、教化とは人々を教え導くことです。レリーフでは立ち歩かれる、（遊行）するお釈迦さまのお姿が、そして、右手を挙げ、左手は下に垂らし、両手の掌をこちらに向けているのは、わたしたちが懐いている恐れや憂いを取り除き、安らぎを施すことを表す施無畏の印をもって、《教化》するお姿が描かれています。お釈迦さまは遊行教化によって、わたしたちを安寧の境地へとお導きになられたのです。



遊化

四聖諦のあらましをお伝えすることにしましょう。四聖諦とは、「四つの聖なる真理」という意味です。一つめは、人生は苦（仏教でいう苦とは思いつ通りにならないこと）であるという真理、これを《苦諦》といいます。二つめは、苦をもたらし原因があり、その原因とは欲望を起す煩惱であるという真理、これを《集諦》といいます。三つめは、苦の原因である煩惱を滅した境地である涅槃があるという真理、これを《滅諦》とい

います。四つめは、涅槃に至るには修行の道があるという真理です。《道諦》とい

います。すなわち、まず病気になることの原因を知り（苦諦）、病気の原因を知る（集諦）。そこで病気の治癒をめざし（滅諦）、それには投薬などの具体的な方法があること（道諦）、に例えることができるでしょう。

そこで、涅槃に至る修行として、正見・正思・正語・正業・正命・正精進・正念・正定の八つの正しい道、《八正道》をお説きになられたのでした。

（次号につづく）

クラシック声楽家×現役僧侶による 萬燈会奉納ミニコンサート

・日時 十一月二十二日(水)・二十三日(祝)
午後六時(両日共)

・会場 五重塔塔院大ホール(入場無料)

クラシック音楽から仏教賛歌まで様々な歌をお届け致します。

・出演 児玉興隆(僧侶×バリトン歌手)

吉田顕静(僧侶×バリトン歌手)

牧野元美(ソプラノ歌手)

大野理津(作編曲家・ピアニスト)

・演奏曲 「オー・ソレ・ミオ」「アメイジング・グレイス」
仏教賛歌「仏教徒の歌」「聖徳太子の歌」他

御詠歌始めませんか

「密厳流御詠歌」講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、萬燈会・常楽会などの法要でお唱えします。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますので、大勢様ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

一、名称 遍照講高幡山支部

一、参加資格 どなたでもご参加いただけます

一、指導 密厳流遍照講師範

一、会費 一ヶ月 三〇〇〇円

(但し、鈴・鉦などの道具は別費)

一、稽古日時 月二〜三回 午前十時〜十二時

問い合わせ先 高幡不動尊内「遍照講高幡山支部」

電話 〇四二五九一〇〇三二



ふかしぎ
不可思議の
かじ 加持の力に
い 生かさるる
いのち尊し
なむへんじょうそん
南無遍照尊
「真言宗智山派詠歌」

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時〜午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料 金三、〇〇〇円也

御護摩修行

○平日 八時・十時・十一時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日 八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日) 五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料 金三、〇〇〇円也 金五、〇〇〇円也 金一〇、〇〇〇円也

(大護摩) 金三〇、〇〇〇円以上

○ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市) 毎月第二日曜日(雨天中止)

ござれ市(がらくた市) 毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ 毎月十五日午前九時

月例写経会 毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要 毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館) 午前九時〜午後四時

拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観
午前九時〜午後四時
参拝料 二〇〇円 (月曜休館)

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

七月に入るとニイニイゼミから始まり境内のそこかしこで蝉が鳴き競っています。近年関西方面からクマゼミも到来して一段と賑やかな状況です。

今号は第三十九回あじさいまつりの諸報告と秋の行事案内を中心に掲載しました。コロナウイルス対策をしながら元通りの形態で諸行事が開催できました。

各地での豪雨災害、台風六・七号での甚大な被害お見舞い申し上げますとともに早期の復旧をお祈りいたします。

発行所
〒191-0031 東京都日野市高幡733
別格本山
高幡山金剛寺
電話 (042)591-0032(代)
FAX (042)593-3038
発行人 黒川 高德
編集人 黒川 高德
年4回発行・再生紙使用